



## 平成27年度「さわやか」活動報告

項目	27年度	八幡	小倉
登録ボランティア数	45名	20名	25名
登録車両数 (うち軽自動車数)	43台 (18台)	19台 (8台)	24台 (10台)
登録利用者数	46名	32名	14名
送迎回数	3618回	2023回	1595回

(八幡・小倉事業所合算 平成28年3月31日現在)

「さわやか」を支えて  
 いただいた皆様のおかげ  
 続いて山田理事長が、「今年で『さわやか』は二〇周年を迎えます。  
 これまで『さわやか』を支えていただいた皆様には御礼を申し上げます。  
 また、二十七年でも無事に事業を終えることが出来ましたことを、ご報告させていただきます」と挨拶していただきました。

初めに司会の岡副理事長が開会宣言を行い、資格審査委員に加峯理事と貞谷事務局長が選任されました。

**第18回特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」定期総会開催**  
 六月二十二日(日)午前十一時十五分から、北九州市総合保健福祉センターシアタースト21(小倉北区)の六階会議室で第十三回特定非営利活動法人通院介護センター「さわやか」の定期総会を開催しました。

「六月四日(土)午前十時から、ウエルとばた十二階・一・二二二会議室で北九州市障害福祉団体連絡協議会(以下「障団連」)の第十九回定期総会が行われました。「さわやか」から貞谷、高原、山田が参加しました。  
 初めに、障団連の中島和子事務局次長から開会宣言がありました。  
 信頼のネットワークを  
 創っていくことが重要  
 続いて、北原守会長から「これからの障団連は、地域とのつながりや地域への貢献

## 第19回北九州市障害福祉団体連絡協議会 定期総会開催

次には貞谷資格審査委員より午前十一時現在、総正会員数二十九名、出席二十四名(うち書面表決者三名)欠席者数五名で、定款に基づき総会は成立する旨、報告がありました。  
 続いて、議長に福腎協の森満義彦副会長が選任され、挨拶があり、議事録署名人に山田理事長と梶原常務理事が選任されました。  
 その後、議案審議に入りました。

その中で、今年役員改選の年であり、役員任期満了に伴い、右下の者が新役員として再任しました。  
 その後、第一回理事会を開催し、定款第十五条二項の規定により理事の互選によって理事長に山田浩美とすることを報告し、異議なく承認されました。  
 第一号議案の情勢報告、



「さわやか」総会の様子



北橋健治  
 北九州市長

活動を通じて信頼のネットワークを創っていくことが益々重要になってきます。

## 新役員紹介

- 理事長 山田 浩美 (かわい泌尿器科クリニック)
- 副理事長 (兼) 常務理事 梶原 待子 (門司港腎クリニック)
- 副理事長 岡 俊一 (かわい泌尿器科クリニック)
- 理事 加峯 東樹 (ひがだクリニック)
- 理事 若原 清彦 (折尾クリニック)
- 理事 高原 由美 (今村クリニック)
- 監事 小田 睦美 (リウマチ友の会)



北九州市  
 障害福祉団体連絡協議会  
 北原守会長

市民への啓発や差別を無くすための運動を本格化させ、共生のまちづくりに尽くしていきたい」と挨拶がありました。  
 次に来賓として北橋健治北九州市長をはじめ、北九州市議会議長代理の渡辺徹保健病院委員長、北九州市社会福祉協議会の柏木修会長からの祝辞がありました。北橋市長は「障団連の北

原会長をはじめ、各団体の皆様方には障害福祉の前進のためのご指導、ご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。  
 障害者差別解消法の施行は、画期的なひとつの出発点としたいと思います。私たちが行政に対して、様々な意見をお寄せいただきたいと思えます」と挨拶がありました。  
 その後、障団連第一回研修会に入りました。(裏面につづく)



# 北九州市の障害福祉政策について

## ① 平成二十八年度障害福祉予算について ② 平成二十八年度からの保健福祉局の体制について

第一回北九州市障害福祉団体連絡協議会（障団連）研修会

（表面よりつづき）

今回の研修会は、北九州市保健福祉局障害福祉部の末吉和久障害福祉企画課長と差別解消法担当の秦勝彦係長による「北九州市の障害福祉政策について」と題して①『北九州市平成二十八年度障害福祉予算について』と②『平成二十八年度からの保健福祉局の体制について』の話がありました。

末吉課長は「四月一日付で保健福祉局並びに障害福祉部の組織が変更になりました。」

初めに障害福祉部に属していた障害福祉センターは、従来の機能に加えて高齢者や障害者を総合的に支援する為に、地域リハビリテーション推進課に変更しました。続いて、地域福祉部では、幅広く高齢者対策を行なう為にのちをつなぐネットワーク推進課から新たに地域福祉推進課に変更しました。

### 新たに認知症支援・

#### 介護予防センターを新設

また、四月一日に総合保健福祉センターの中に認知

症支援・介

護予防セン

ターを新設し、

認知症カフェ

エモデルや

徘徊模擬訓

練の運営支援、認知症サポ

ーターや健康づくり推進委

員の人材育成等に取り組ん

でいきます。

障害福祉部は今年度から

は障害福祉企画課と障害者

支援課に分離して、昨年度

からある障害者就労支援室

を合わせた三課体制で行な

っています。

今までは障害福祉課一本

で行なっていた業務を分け

た事で、それぞれの役割が

明確化されたと思っています。

（図①）

続いて、今年度重点的に

取り組む障害福祉施策として

◇障害者差別解消法推進事

業

障害者差別解消法の施行に伴

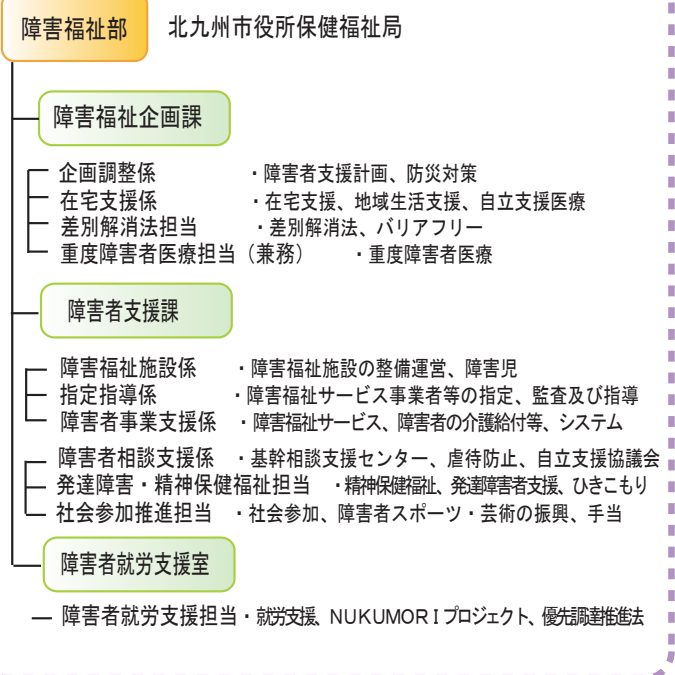
い、障害を理由とした差別の解

消を推進するための相談・紛争

防止等に係る体制整備、障害者



（図①）



### ◇平成二十八年度北九州市障害児・者等実態調査事業

平成十九年度策定予定の「仮称 北九州市障害児支援計画（平成三十年度～三十五年度）」の基礎資料とするともに、今後の障害福祉政策の参考とするため、市内在住の障害児・者について、生活実態やサービス利用状況等について調査を実施します。

次に、障害者支援計画は国から全国の自治体に策定を義務付けられています。

北九州市では『障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合い

### ◇平成二十八年度北九州市障害児・者等実態調査事業

ながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくり障害があってもひとりの市民として、自分らしく生活できる地域社会の実現の基本的理念のもと障害児支援計画に取り組んでいます。

最後に、行政にとっても障害者差別解消法は重要な取り組みだと考えています。

これまでと同様、皆様のご協力をいただきながら、着実に取り組みを進めていきたいと思っております」と話され、研修



引き続き、総会に入りました。議長にNPO法人列島会の中村儀成氏が選任され、承認されました。議事録署名人に福岡県脊髄損傷者連合会北九州市部の宮岡健氏、NPO法人北九州市難聴者・中途失聴者教会の内田幸子氏が選任され、承認されました。障団連事務局より、加盟団体数四十一団体、出席団体数二十八団体、委任団体数十二団体でこの総会は成立する旨、報告がありました。その後、審議に入り、平成二十七年事業報告及び決算報告、会計監査報告、役員改選、平成二十八年度事業計画及び収支予算（案）が提案され、満場一致をもって承認されました。最後に、三役の紹介があり、会長に北九州市手をつなぐ育成会顧問の北原守氏、副会長としてNPO法人北九州自立生活センター代表の林芳江氏と『さわやか』の山田理事長、事務局長に（公社）北九州市障害福祉ボランティア協会常務理事の古賀由美子氏が就任されました。総会は正午に閉会しました。